

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 9 月 15 日(2022.9.15)

【国際公開番号】WO2020/053655
 【公表番号】特表 2022-500435(P2022-500435A)
 【公表日】令和 4 年 1 月 4 日(2022.1.4)
 【出願番号】特願 2021-514091(P2021-514091)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/437(2006.01)
 A 6 1 K 31/5025(2006.01)
 A 6 1 P 43/00(2006.01)
 A 6 1 P 35/00(2006.01)
 C 0 7 D 471/06(2006.01)
 C 0 7 D 471/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 31/437
 A 6 1 K 31/5025
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 D 471/06
 C 0 7 D 471/04 1 0 7 A

20

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 9 月 7 日(2022.9.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乳がんの患者を治療するのに使用される、1 - ベンジル - 6 - (3, 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - N - メチル - 1 H - イミダゾ[4, 5 - b]ピリジン - 2 - アミン(化合物 I)、1 - ベンジル - 6 - (3, 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - 1 H - イミダゾ[4, 5 - b]ピリジン - 2 - アミン、およびその薬学的に許容可能な塩 / 共結晶から選択される B E T プロモドメイン阻害剤であって、第二の治療剤と組み合わせて投与される、B E T プロモドメイン阻害剤。

【請求項 2】

B E T プロモドメイン阻害剤が化合物 I であり、ここで該 B E T プロモドメイン阻害剤が化合物 I の形態 I のメシル酸塩 / 共結晶であってもよい、請求項 1 に記載の使用のための阻害剤。

40

【請求項 3】

第二の治療剤が P A R P 阻害剤であり、該 P A R P 阻害剤がタラゾパリブであってもよい、請求項 1 または 2 に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 4】

さらにチェックポイント阻害剤と共に投与される、請求項 3 に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 5】

乳がんがトリプルネガティブ乳癌(T N B C)である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に

50

記載の使用のための阻害剤。

【請求項 6】

対象が以前に乳がん療法の治療を受けたことがあり、ここで該乳がん療法が化学療法または免疫療法である、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 7】

対象が以前に P A R P 阻害剤での治療に対して疾患の進行を示したことがある、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 8】

対象がヒトである、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 9】

乳がんの対象が、一方または両方の生殖系列変異 B R C A 1 および B R C A 2 を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 10】

乳がんの対象が、生殖系列変異 B R C A 1 または B R C A 2 を有しない、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 11】

乳がんの対象が、B R C A 1 または B R C A 2 のいずれかに、あるいは B R C A 1 および B R C A 2 の両方に体細胞変異を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 12】

乳がんの対象が、A T M、C H E K 2、N B N、P A L B 2、A T R、R A D 5 1、R A D 5 4、D S S 1、R P A 1、C H K 1、F A N C D 2、F A N C A、F A N C C、F A N C M、B A R D 1、R A D 5 1 C、R A D 5 1 D、R I F 1、および B R I P 1 を含む、相同組換え (H R) 遺伝子に 1 または複数の体細胞変異、または生殖系列変異を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 13】

対象が、相同組換え (H R) - プロフィシエントとして特徴付けられる腫瘍を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 14】

前記対象が、相同組換えデフィシエント (H R D) として特徴付けられる腫瘍を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 15】

1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - N - メチル - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - b] ピリジン - 2 - アミン (化合物 I) および 1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - b] ピリジン - 2 - アミンおよびその薬学的に許容可能な塩または共結晶から選択される化合物が、用量制限毒性として血小板減少症を引き起こすことなく、P A R P 阻害剤と共に投与され、ここで該 P A R P 阻害剤がタラゾパリブであってもよい、請求項 1 に記載の使用のための阻害剤。

10

20

30

40

50